

平成20年度当初予算編成状況

(款)6.農林水産費 (項)1.農業費 (目)1.農業委員会費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	農業委員会運営費	農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農業者の地位向上を目的とした農業委員会の運営を行う	22,959	23,799	23,487	528	
継続	国有農地管理事務費	国有財産(国有農地)の管理及び対価徴収に関する事務経費	32	19	19	▲ 13	
継続	農業者年金事業	農業者年金事業の周知徹底及びその円滑な運営に資するとともに、被保険者、受給権者等からの各種相談に対応する	225	232	232	7	
目計			23,216	24,050	23,738	522	

(款)6.農林水産費 (項)1.農業費 (目)2.農業総務費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	農業総務一般管理費	農業振興に関する費用(人件費等)	13,204	12,041	12,036	▲ 1,168	
目計			13,204	12,041	12,036	▲ 1,168	

(款)6.農林水産費 (項)1.農業費 (目)3.農業振興費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	農業振興対策費	境港市農業振興協議会への助成及び農業近代化資金等借入農業者への利子補助	118	98	18	▲ 100	
継続	市民農園管理費	市民農園での農業体験を通して、市民の農業への理解と交流の場とする	375	342	342	▲ 33	
継続	特産野菜産地維持対策事業	特産野菜白ねぎ、冬にんじんの指定産地としての地位の維持・発展を図るため、野菜価格安定基金に対する積立金の農家負担分について補助等の支援を行う	545	547	548	3	
継続	干拓地保水力向上対策事業	中海干拓地の慢性的水不足を補完するため堆肥の投入により保水力を高める	13,984	13,844	13,844	▲ 140	
継続	親子ふれあい農園事業	野菜の栽培を通して親子がふれあい、食について考える機会を提供する	221	219	219	▲ 2	
継続	有害鳥獣捕獲事業	有害鳥獣による農作物被害を防ぐため、箱ワナで捕獲する	405	405	405	0	

- ・※切後に生じた法改正等により事業追加やその他見直しが行われることがあります。
- ・個々の数字は公開後でも修正される場合があります。

平成20年度当初予算編成状況

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	農地保有合理化促進事業	農業経営の規模拡大、農地の集団化を促進するため、(財)境港市農業公社の農地保有合理化促進事業を支援する	200	170	170	▲ 30	
継続	遊休農地利用促進対策事業	遊休農地の草刈り、雑物除去を行い、農地の有効利用と生産環境の整備を図る	495	257	257	▲ 238	
継続	農業経営基盤強化資金利子補給金	農業の担い手確保を目的とし、農業経営基盤強化資金への利子助成を行う	329	337	337	8	
継続	新規参入者就農支援事業	生産基盤が不安定な新規就農者の負担軽減を図り、新たな農業の担い手を育成するため、新規就農者に対する農地借地料の補助を実施する	1,431	171	171	▲ 1,260	
終了	鳥取県西部地震被害農業者対策特別資金	鳥取県西部地震の被害農業者に融資される農業制度資金に対し、上乗せ利子補給により復興を支援する	18	0	0	▲ 18	H19限りで終了
継続	白ねぎ産地改革推進事業	中国産輸入白ねぎに対抗するため、収穫量の増収、生産コストの削減を実現するための産地改革の推進(運作障害対策の緑肥作物作付推進等)	300	334	0	▲ 300	
新規	チャレンジプラン支援事業	意欲ある農業者等が行う創意工夫を活かした取り組みについての計画の実現を支援することにより、元気な農業者を育成し、本市農業の振興、活性化を図る	0	11,173	0	0	保留
継続	農業経営改善支援センター運営事業	農業経営改善センター活動を中心として、認定農業者・新規就農者の支援を図る	13	0	0	▲ 13	
終了	全国和牛能力共進会サブ会場イベント	全国の優秀な和牛が5年に一度、一堂に会して優劣を競う全国大会であり、多くの来場者に鳥取県の畜産産業や観光・物産・風土・文化等を幅広く発信することができる総合的な祭典。竹内団地がサブイベント会場となっており、様々なイベントを開催する。	10,000	0	0	▲ 10,000	H19限りの単年度事業
目計			28,434	27,897	16,311	▲ 12,123	保留あり

(款)6.農林水産費 (項)1.農業費 (目)4.農地費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	土地基盤整備管理費	土地基盤整備に係る関係団体への会費・負担金	47	62	47	0	
継続	農業用排水路管理事業	農業用排水路の水利調整及び管理を行う境港市農業用排水路管理調整協議会への運営費補助及び水路清掃に係る草・土砂運搬処分費	2,049	1,991	1,991	▲ 58	
継続	土地改良施設整備事業	農業経営基盤のうち、国または県の補助対象外の小規模改良及び緊急を要する整備などに即応する	3,750	3,750	3,730	▲ 20	
継続	米川水利用調整事業	農業水利施設の多様な管理に対応するため、米川土地改良区の管理体制を整備することにより、水利用の合理化を図り、弓浜半島地域の水不足の緩和や干拓地の水源の確保につなげる	3,355	3,386	3,386	31	
継続	県営弓浜地区畑地総合整備事業	中海淡水化の中止に伴い米子市及び境港市に広がる農地の農業用水(代替水源)を確保するため、必要な農業用水利施設を整備する	1,470	18,200	18,200	16,730	
継続	上の川までの水路新設事業	米子空港滑走路延長事業に伴う地域振興計画に基づき、新屋町内の農業用排水路を整備し、大雨時に畑が冠水することを防止する。	2,625	10,080	10,080	7,455	
終了	集落営農活性化基金積立金	集落営農の活性化を図るための事業に充てる財源として積み立てている基金(貯金)への積立金	1	0	0	▲ 1	積立金運用方法見直しにより予算計上額0となった
目計			13,297	37,469	37,434	24,137	

- ・※切後に生じた法改正等により事業追加やその他見直しが行われることがあります。
- ・個々の数字は公開後でも修正される場合があります。

平成20年度当初予算編成状況

(款)6.農林水産費 (項)2.林業費 (目)1.林業振興費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	林業一般管理費	林業振興に係る関係団体への会費・負担金等	201	158	138	▲ 63	
継続	造林事業	日野郡日南町阿比縁の市民の山(水源かん養林)にS57～62に植栽したスギ、ヒノキの下刈り、除伐、枝打ち、間伐などを行い、植栽林の保育を推進する	1,365	178	0	▲ 1,365	
継続	松くい虫駆除事業	松くい虫被害木を伐倒駆除することにより、被害拡大を防止し、「市の木」クロマツを保護する	3,716	3,684	3,684	▲ 32	
目 計			5,282	4,020	3,822	▲ 1,460	

(款)6.農林水産費 (項)3.水産業費 (目)1.水産業総務費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	水産総務事務費	水産振興に関する費用(人件費等)	22,811	23,849	23,385	574	
継続	漁港改修事業	漁港改修による生産基盤整備を図る	137	180	180	43	
継続	漁港改修事業地元負担金	鳥取県が行う境漁港改修事業に対する地元負担金	1,125	7,500	7,500	6,375	
継続	海岸緑地トイレ管理費	境水道沿いの海岸緑地に設置した海岸緑地トイレの維持管理費用	443	437	437	▲ 6	
終了	「海の日」モデル地区認定事業	「海の日」モデル地区は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の発展を願う」とする祝日法に定められた「海の日」の趣旨に基づき、海運、港湾、水産などの海事産業や海の祭などを地域振興の重要な要素としている境港市は認定を受けることで、より一層の発展に資する。	294	0	0	▲ 294	H19限りの単年度事業
目 計			24,810	31,966	31,502	6,692	

- ・※切後に生じた法改正等により事業追加やその他見直しが行われることがあります。
- ・個々の数字は公開後でも修正される場合があります。

平成20年度当初予算編成状況

(款)6.農林水産費 (項)3.水産業費 (目)2.水産振興費

【単位:千円】

区分	事業名	事業の目的及び概要	平成19年度 当初予算額 (A)	平成20年度 要求額 (B)	財政課長 査定段階 (C)	増減額 (C)-(A)	備考
継続	水産業振興対策費	水産業の振興に係る補助金・負担金等	1,254	1,174	1,174	▲ 80	
継続	栽培漁業推進事業	クルマエビ種苗の放流を行い資源の確保と増大を図り、沿岸漁業の振興を目的とする	3,144	2,640	0	▲ 3,144	保留
継続	魚食普及推進事業	境漁港に水揚げされる魚介類の魚食普及に努めると共に水産基地「境港」をPRする	1,105	1,050	1,050	▲ 55	
継続	漁業金融対策事業	本市漁業者に対して、漁業近代化資金等を融資し漁業振興に寄与している信漁連に、今後もさらに円滑な融資が図られるよう預託する	15,000	15,000	15,000	0	
継続	水産業復興支援緊急対策利子補給事業	平成12年の鳥取県西部地震により被害を受けた漁業者等に対し、災害復旧資金の融通等を行うことにより、漁業者等の経営の安定に資する	1,211	819	819	▲ 392	
継続	沖合漁業新規就業者支援事業	沖合漁業の経験が無く、新たに沖合漁業に従事した者に対し、雇用安定のための支援を行い、沖合漁船員の確保を促進する	3,934	5,906	5,906	1,972	
継続	境港水産物輸出対策事業	鳥取県境港水産物輸出入促進協議会が行う、境港に水揚げされた水産物及び水産加工品の中国への輸出事業を支援し、水産業の付加価値向上による振興を図る	600	600	460	▲ 140	
継続	水産加工経営緊急特別対策事業	北朝鮮の核実験に対する制裁措置が加工原料不足、原料単価の向上をもたらし、加工業者経営収支の悪化が懸念される。加工業者の経営安定を図るため、水産加工経営緊急特別対策資金の保証料について助成する。	465	372	372	▲ 93	
新規	漁業担い手育成事業	漁業研修を実施する漁業協同組合を支援することにより、新規就業者の確保を図る	0	476	476	476	
新規	水産物販売促進事業	料理提案型の商談会を通じて、今まで流通してなかった魚(コノシロなど)の県外販路を開拓する。	0	205	205	205	
新規	漁業経営開始円滑化事業	漁業就業者の確保対策として、新規漁業経営者に対して漁船等の貸付を行う漁協を支援する。	0	26,668	26,668	26,668	
新規	漁業外国人研修生受入事業	漁業研修を実施する漁業協同組合を支援することにより、新規就業者の確保を図る。	0	4,094	0	0	保留
終了	漁獲共済掛金軽減事業	新日韓漁業協定の締結によって影響を受けている漁業者の漁獲減少に伴う漁業経営の悪化を漁業共済制度の活用によって緩和し、本市漁業の維持、保存を図る	4,187	0	0	▲ 4,187	H19限りで終了
終了	水産加工汚水処理場整備基金積立金	境港水産加工汚水処理場の改良や修繕等に充てる財源として積み立てている基金(貯金)への積立金	16	0	0	▲ 16	積立金運用方法見直しにより予算計上額0となった
終了	魚とのふれあい推進事業	栽培漁業の推進、資源の保護培養、魚食普及、海の環境保全を図るとともに、広く県民に水産に対する認識を深めてもらうことを目的とし、PRイベント等の開催等で推進を図る	52	0	0	▲ 52	H19限りで終了
終了	紅ズワイガニ休漁支援事業	減少傾向にある紅ズワイガニの減少に歯止めをかけ資源の持続的利用を図るために実施する休漁に対し、行政が連携して支援を行う。	8,464	0	0	▲ 8,464	H19限りで終了
終了	境港マグロブランド化事業	境港のマグロは県内外の知名度もあまり高くない状況である。そのため夏はマグロ、冬はカニを合い言葉に境港を全国にアピールするとともに、マグロを身近な食材にするためのキャンペーンを行う	670	0	0	▲ 670	H19限りの単年度事業
目 計			40,102	59,004	52,130	12,028	保留あり

- ・※切後に生じた法改正等により事業追加やその他見直しが行われることがあります。
- ・個々の数字は公開後でも修正される場合があります。